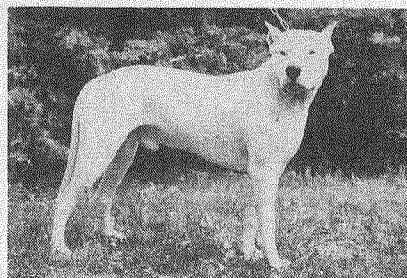
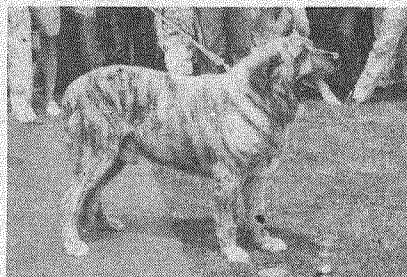


オランダ犬と中国犬の
交配種「ユーラシア」



アルゼンチンの新犬種
ゴ・アルヘンティノー



こちらはブラジル新犬種
ブラジリアン・ガード・ドッグ



「ほえない犬」として
知られるバセンジー

人間好みの犬を作り出す。わが国ではなじみが薄い。が、欧米では異なった犬の交配による新犬種は少なくない。

ドイツで作られたユーラシアは、ヨーロッパのケースホンドと中国のチャウチャウを交配させた犬。ケースホンドは、スピッツに似た感じの犬

自分の国の犬を作りたい、との願望も根強い。アルゼンチンのドゴ・アルヘンティノーは、テレビのコマーシャルで人気者になったブル・テリアを中心に改良された。精かんだが、ひょうきんな感じもある。マスチーフを土台にし

日本では、土佐犬が和洋の交配犬種といわれている。明治以降ではそれ以外に、外国犬種との交配の例はほとんど

スーパー使役犬、国のマスコット犬……

新犬種作り 海外では盛ん

日本では唯一
あの土佐犬が

たブラジリアン・ガード・ドッグはその名の通り、ブラジルのマスコットのような存在に、と作られた犬だ。

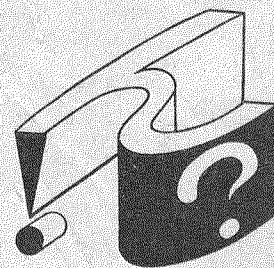
安吉 邦男記者

ない。だが、ジャパンケンネルクラブ広報室顧問で、犬に関する著書も多い高田進さんは、「社会の変化に応じて、見合った犬を、と考えるのは当然。ナグヤ犬と聞いて、なるほどと思いました」と話す。

「ほえない犬」普及への挑戦は、スピッツでもみられる。おとなしい犬同士との交配で無駄ほえをなくすというものだ。アフリカ産の「鳴かない犬」バセンジーにも目が向けられている。柴犬に似て、都市で飼うには最適だが、数が少なく、入手が難しい。「で、作ってしまおう、ということでしょう」と高田さん。「いかにも名古屋らしい。ニワトリや金魚などでも品種改良に意欲的な土地柄だけに、そう感じました。頑張つてほしい」。成り行きを熱く見守っている。



昨年、名古屋市動物愛護センターで生
1雑種」の「シングル」と飼い主の



ほえない
第

教授は「遺伝子を固定させるには数十年、あるいはもっと長い年月がかかり、確固たる執念が必要だ。意図はよく理解出来るが、自治体として、飼い主の教育、犬のしつけの充実を図るなどした方が効果的なのでは」との意見だ。

当の横井さんたちも、そうした声は知っていて、「あせらず、じっくり、何とかしていい犬を」。

遠ほえはせず、「牛歩」を覚悟で腰を据えている。